

# 東北中学校駅伝競走大会 クマ対策について

東北中学校駅伝競走大会  
秋田大会実行委員会

## ◎大会前の確認(秋田県実行委員会)

- ①大会1か月前のクマ情報について県立中央公園と情報共有  
※轟音玉の使用確認と熊対応センサーの設置場所確認
- ②大会当日の役割分担の確認

## ◎大会当日の対策について

- ①競技場から離れた監察員は熊鈴を所持し、選手通過以外は巡回する。
- ②全ての監察員はトランシーバーを所持する。
- ③危険箇所の事前周知の徹底(HPコース確認)

## ◎レース中にクマが出たときの対応

- ①トランシーバーにて出没場所等を大会実行委員会へ報告。
- ②レースについては、次のようにする。
  - (1) その区間が全員ゴールしている場合は、その区間まで成立とし、次の区間以降は総務で協議する。
  - (2) 選手の安全を最優先として、レースを中断し、次の区間から再スタートとする。中断したレースは区間の最後に再レースとする。
  - (3) (1)～(2)を含む状況に対して、慎重に総務で協議して、大会運営を行う。

## ◎対応の手順

- ①各県専門委員長を通して、全チームへ連絡をする。  
(会場アナウンスも行う)
- ②競技中は、全線監察員のトランシーバーへ連絡し、選手・補助員の避難誘導を行う。
- ③連絡が入り次第、中央公園事務所職員による「轟音玉」発砲

## ◎避難場所

- ・スタート・ゴール付近→スカイドーム・アリーナ・陸上競技場等
  - ・コース担当役員・補助生徒→サッカー場・運動広場等
- ※あくまでも目安となるので、担当者が安全と判断した場所への誘導をお願いします。
- ※補助生徒が参加している中学校顧問は責任もって補助生徒の安全確保に努めること。
- (実行委員会では全補助生徒の対応をすることはできません)

## ◎避難後の対応

- ・実行委員会から連絡があるまでは安全な場所で待機すること。
- ・レース中の避難となった場合、その後のレースについては実行委員会が協議し、連絡する。

- ・上記内容はあくまでも目安となります。状況に応じて適切な対応をお願いいたします。
- ・轟音玉はかなりの爆音だと聞いております。選手が驚かないよう、事前に連絡をお願いいたします。

### ◎その他

- ・熊鈴設置場所、熊対応センサー設置場所  
※下記の図で示す



- ・コース内は、6つのセンサーが設置されている。  
(白○、黄色○で示す)
- ・国際教養大側は、2つの熊鈴が設置されている。  
(赤○)
- ・轟音玉↓は、資格保持者でなければ使用できない。爆音と火薬の匂いで熊  
追い払う効果がある。

